2020年（令和2年）12月1日 第408号

とよのかんぽー

発行所
長野市立豊野公民館
長野市豊野町豊野612-8
電話 257-5875
発行人 柳原政利
印刷所 ㈱信光社

豊野町の世帯と人口（2020年11月1日現在） 3,655世帯 人口9,375人（男4,560人 女4,815人）

ありがとうをあなたに

「10・13を伝えていく集い」開催

受賞された皆さんと「ゆたかちゃん親子」の記念撮影

台風19号災害から1年の10月13日、災害を忘れず未来へ語り継ごうと「10・13を伝えていく集い」が同実行委員会、豊野地区住民自治協議会主催で開催。台風災害の犠牲者に黙とうをささげ、復興の誓いを新たにしました。

集いでは「ありがとうをあなたに」をサブテーマとして、地域の復旧・復興に尽力された関係者に感謝状が贈られました。

また「ゆたかちゃん再ブレイクさせ隊」が復興の象徴として新調した「ゆたかちゃんジュニア」を披露しました。

感謝状受賞団体（順不同）

賛育会
豊野温泉りんごの湯
飯綱町社会福祉協議会
豊野高等専修学校
豊野中学校
レスキューストックヤード（名古屋市）

豊野の風

新幹線の通過音が大きく響く。見えなかった山並みが見える。西日が当たるようになった。リフォームし家族が戻ってきた。新築し灯りが点いた。手つかずのままの家が気になる。更地増。地価下落。世帯減。人口減。離町。前向きに頑張っている方。踏み出せない方。

泥水は水平に襲ったが、復興に向かう形はそれぞれに異なっている。わずか1年でこんなにも町の景色を変えてしまうのが水害と知った。

堤防が修復され、川底が深くなっても住む人が元気にならなければ真の復興とは言えない。復興は新たな地域づくりと繋がっている。地域づくりは人繋がりで進む。人繋がりは理解と信頼から始まる。人繋がりは防災にもなる。被災の意義を新たな地域づくりに見つけられはしないか。福祉の町であればこそ、被災で繋がったご縁を育み、心地よいぬくぬくの風を吹かせたい。被災2年目はそんな風に当たりたい。（S）

台風19号災害から１年
写真で見る復興の足跡

未曽有の台風19号豪雨災害から早１年。被災地の復興へ向けた取り組みや現在の姿を写真で紹介します。

昨年10月13日 10:03

豊野駅南口　昨年10月13日 11:13

⬆県道跨線橋から大道橋を望む⬇

10月25日

豊野中学校
昨年10月13日 9:45

「集楽元快」の支援物資提供（りんごの湯で）
昨年11月27日

沖団地の空地に咲いたヒマワリ
８月３日

浅川に合流する三念沢改修工事現場
10月13日

満開の被災桜
（豊野中央北遊園地）４月17日

豊野も参加した千曲川流域12市町一斉打ち上げ
復興祈願花火　11月３日

「10・13を伝えていく集い」
実行委員　10月13日

がんばろう豊野！

…皆様の健康と笑顔を祈って…

四万八千日縁日に合わせ煙火打ち上げ

地域の皆様の災害からの復旧・復興と、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防を願って、豊野復興応援実行委員会では応援煙火を打ち上げさせていただきました。

打ち上げ日は、江戸時代より我々豊野地区を見守ってくださっていた豊野観音堂の四万八千日縁日に合わせて8月9日としました。

三密を避けるために、事前に広告のできないシークレット打ち上げとなってしまいましたが、夏の夜空に大きな華を咲かすことができました。これもひとえに「地域の皆様に少しでも笑顔を届けたい！」という思いの各団体や地主様など多くの方々にご協力いただいたおかげです。

これからも復興には長い道のりが待っています。私たちも細く長く、皆様を応援していきたいと思っています。

一緒に前を向いて、進んでいきましょう。

協賛団体（順不同）

豊野商盛会
豊野区
ＪＡながの豊野町支所
八十二銀行豊野支店
長野信用金庫豊野支店
しなの鉄道豊野駅
豊野観音堂信徒総代会
長野市豊野支所職員有志
など

（豊野商盛会　山本明広）

四万八千日縁日の歴史

豊野観音堂は宇山（現在の場所から約500㍍北側、油沢川沿い）にあった「聖林寺」ゆかりのお堂。

13世紀創建の聖林寺は、15世紀に土石流により倒壊流失。1509年にその跡から千手観音が見つかり、その見つかった日とされる8月9日を四万八千日の縁日にしたとのこと。

「10・13を伝えていく集い」で誕生、お披露目された豊野のご当地キャラクターゆたかちゃんジュニア。

先代は25年前に誕生しましたが、高齢化が進み、二世誕生が望まれていました。そこで、「ゆたかちゃんを再ブレイクさせ隊」が復興の象徴にとジュニアを誕生させたのです。

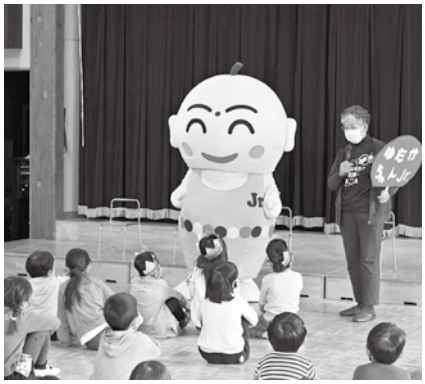
復興の象徴

ゆたかちゃんジュニア誕生

洋服の緑色は豊野の豊かな自然をイメージし、丸い模様は郷土の特産りんご、ぶどう、なしを表しています。

10月28日から町内の保育園、小学校に出かけ、誕生のあいさつ回りをしました。今後、地域のイベントで活躍するジュニアの姿が見られることでしょう。

また、このジュニアを貸し出しますが、けがや病気（破損や汚損等）をさせた場合は、借用者が治療費（修理代）を負担してくださいとのことです。



豊野ひがし保育園

豊野東小学校

豊野西小学校

ゆたかのに輝く

イケダbバンド

はじめに

朝夕、防災行政無線から流れていた豊野町のイメージソング「ゆたかのまち」が、昨年の台風19号による未曾有の大災害により支所も浸水し、10月15日からパッタリ聞けなくなり1年が過ぎてしまいました。

我々の演奏活動も、昨年の豊野ヨイショコまつり、豊野サマーフェスティバルで止まったまま。そこにコロナ禍です。東京オリンピックが延期になり、ステージでは必ず演奏していたオリンピックをイメージするサザンオールスターズの「東京ＶＩＣＴＯＲＹ」も、これまた聞こえてこなくなりました。

第２回クリーンピア千曲まつり（1992年）

結成から現在まで

我がバンド（当時は池田バンド）が「とよのかんぽー」に登場するのは平成２（１９９０）年以来、30年ぶりのことです。

私が豊野で開業して間もない昭和49（１９７４）年、当時は青年団が活躍しており、スポーツは盛んだが音楽活動が無いのでやってみないかとの勧めで、学生時代音楽をやっていた団員を紹介されバンドを結成。

しかし、結婚や転勤でいつの間にか私一人になるが、自宅にスタジオも作りグランドピアノをはじめ楽器もそろえてしまったので、改めてメンバーを探して柄沢公（ギター）、霜村巌（ボーカル・ドラムス）、橋詰正夫（ギター・アレンジャー）、池田良一（ベース）の４人で昭和54（１９７９）年に再結成。この４名は41年過ぎた今でも不動のメンバー。

その後キーボードが加わり、今は９代目遠藤女史、霜村がボーカルに専念し、ドラムスは７代目小田切亮、司会と音響ミキサー吉澤敏子の７名が現在のメンバーです。

第５回かがやきフェスティバル

ふれあい広場・町民文化祭（現豊野町文化祭）、大倉区をはじめ各区民祭、豊野病院病院祭、清風園等の老人施設慰問演奏、豊野サマーフェスティバルほか演奏させていただいております。

平均年齢も60歳台と中年バンドになりました。長く続けて来られたのは、音楽を通じ一緒に楽しんでくださる人との出会いがとっても励みになっています。

平成７（１９９５）年、旧豊野町町政40周年事業の一環でイメージソングの公募があり、私が作詞し、メンバーの橋詰正夫が作曲した「ゆたかのまち」が採用され、「ダ・カーポ」の澄んだ歌声でレコーディングされました。この歌が長野市との合併後も、朝夕の防災行政無線で流れていたこと、平成８（１９９６）年には15年間続けて長野刑務所（須坂市）の慰問演奏で法務大臣表彰をいただいたことが、活動してきた最高の喜びです。まだまだ続けていきます

元メンバーを含め２人が被害に遭遇した19号台風から早期に復旧し、コロナ禍が治まり、再び大勢の手拍子や掛け声の中で、楽しく演奏が出来ますことを心より祈念いたします。

（リーダー　池田　良一）

第14回豊野サマーフェスティバル（2016年）

長野市 豊野支所から

除雪はみんなの力で！

市では冬期間の交通を確保するため、幹線道路を中心に、事業者に委託して除雪等を行います。安全で円滑な除雪作業ができますよう、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

除雪に当たってのお願い

❄自宅周辺の除雪にご協力を

自宅周辺の生活道路は、各家庭で除雪していただくようお願いします。

また、除雪車が通った後、玄関先などにやむを得ず雪が残ってしまうことがありますので、その雪の処理にご協力をお願いします。

❄路上駐車はやめましょう

路上駐車は、除雪作業を妨げるばかりでなく、緊急車両の通行の妨げにもなるため、絶対にしないでください。

❄道路・水路に雪を出さない

道路への雪出しは、道路幅が狭くなり、交通障害や事故の原因となります。また、除雪作業中に、自宅敷地内の雪を道路に出すことは円滑な除雪作業の妨げとなるため、敷地内にて処理をしていただくようお願いいたします。

なお、水路に雪を捨てると、水路が詰まって、水が道路にあふれて凍結することがあります。大変危険ですので、やめましょう。

生活道路の除雪などへご協力いただくために

❄凍結防止剤の配布

市道への散布のために、住民自治協議会や区・自治会および個人からの申し込みにより、凍結防止剤を土木事務所で配布しますのでご利用ください。

❄運転手付きダンプトラックの無償貸出し

生活道路（市道）の排雪を対象に、住民自治協議会や区・自治会および個人からの申し込みにより貸し出しています。

❄小型除雪機の貸与

中山間地域などへは、貸与して、地域の皆さんに生活道路を除雪していただいています。引き続きご協力をお願いします。

市が行う除雪など

❄除雪を行う路線

主要な幹線道路は積雪10チセンを目安に原則通勤・通学時間帯までに、地区の重要路線などは積雪20チセンを目安に主要な幹線道路除雪後に行います。積雪量等によっては遅くなることがありますが、ご理解をお願いします。

建設部　維持課
東部土木事務所（豊野支所内）
電話　２５７・５８６９

話題

ミニ文化祭開催中

今年は豊野町文化祭、ふれあいまつり、商工会防災講演会を合同で実施しようと「ふれあいフェスティバルinとよの」実行委員会を立ち上げましたが、コロナ騒ぎの影響で中止せざるを得ませんでした。昨年も台風19号災害で文化祭、ふれあいまつりが中止され、2年続きで皆さんの発表機会が失われてしまいました。

「ミニ文化祭」コーナー

そこで公民館では力作を発表してもらおうと、公民館ロビーに「ミニ文化祭」コーナーを設けました。展示期間は原則2週間単位とします。希望者は公民館へご相談ください。

豊野音頭の額掲出

豊野音頭の額を森要さんから寄贈していただきました。

この額は故富士義人さんの揮毫で、昭和61（１９８６）年7月に開催された第1回豊野ヨイショコまつりを記念して書かれたものです。まつり当日は、歌手の松原のぶえが豊野音頭を歌いました。

豊野音頭は昭和12（１９３７）年、神郷村商工会関係者が西条八十に神郷民謡の作詞を依頼した「丹霞郷小唄」（作曲大村能章、振付藤間喜輿恵）が元唄です。その後、神郷音頭、鳥居村との合併後、昭和30（１９５５）年に豊野音頭になったのです。

公民館では豊野に伝わる豊野音頭の踊りを覚えてもらおうと平成29（２０１７）年から公民館講座を実施しています。

豊野音頭の額

夏から秋の講座

健康フライデー
6月19日、7月17日
8月21日、9月18日
10月16日、11月20日（金）

りんごの丘 そぞろ歩き
7月21日（火）

ゆたかのまち そぞろ歩き
11月4日（水）

豊野駅近くの流死人菩提碑の前で

19号台風災害を忘れないようにと、被災地域の当時の様子や復興状況の説明を聞き、災害の歴史や減災の取り組みの重要性を学びました。

また、赤沼の善光寺平洪水水位標へも足を延ばしました。

ピアノコンサート
11月6日（金）
講　師　中川真由美さん（ピアノ）

中川さんの熱演に感激

ご自身も被災された中川さんの渾身の演奏に参加者はうっとり。感謝と激励の拍手が送られました。

今後の主な講座

健康フライデー
12月18日、1月15日、
2月19日、3月19日（金）

ミニ門松づくり
12月19日（土）
講　師　平井正一郎さん
正月を迎える可愛い門松づくり。親子参加も大歓迎。

花の春
12月28日（月）
講　師　橋本博重さん
新春を迎えるにふさわしいフラワーアレンジメントをつくりましょう。

正調豊野音頭
1月20日～3月10日（水）
全8回
講　師　正調豊野音頭保存会
豊野の伝統舞踊を学びませんか？

このほかにも様々な講座を予定しています。詳細は、その都度回覧文書でお知らせいたします。

新春スポーツ大会 コロナ禍で中止に

例年1月に開催していた新春スポーツ大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ながら中止になりました。

今年度の成人式 来年8月に再延期

令和2年度豊野町成人式を令和3年1月2日（土）に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため再延期いたしました。

延期開催日
令和3年8月15日（日）

※時間、会場等の詳細については、改めて対象の方にお知らせいたします。

新成人ならびにご家族の皆様には、大変ご心配をおかけいたしますが、何とぞご理解、ご協力をお願いいたします。

文芸とよの

川柳　あすなろ会

子どもより　おやつをこっそり　多く取る
「あら元気？」　実は昨日も　会っていた
子育ても　給料出れば　やる気でる
ぼくの歯も　じいちゃんみたいに　取りたいの！
さっきまで　使っていたのに　アレよアレ！
夏休み　置き物のごとく　動かない
真夜中に　小さき足が　襲い来る
ゲームなら　集中力は　半端ない
米実り　今年もスズメ　豊作だ
リンゴある　誰がむいて　くれるかな
リンゴある　誰もむいて　くれないの？
半袖を　見ているだけで　寒気する
腹巻の　中からくれる　飴ひとつ

編集後記

急激な寒さから、コートを出してみました。ふとポケットの中を見ると一昨年のレシートが入っていて「去年どうして気づかなかったのかな？」と考えたら、去年は使っていないことに気づきました。

災害後は上下カッパで汚れていい服、外の作業にも耐えられる温かい服を選んでいて、コートを着るなんて思いつかなかったと感じました。災害から1年。身近に感じた去年との違いに色々思い出される出来事でした。（G）